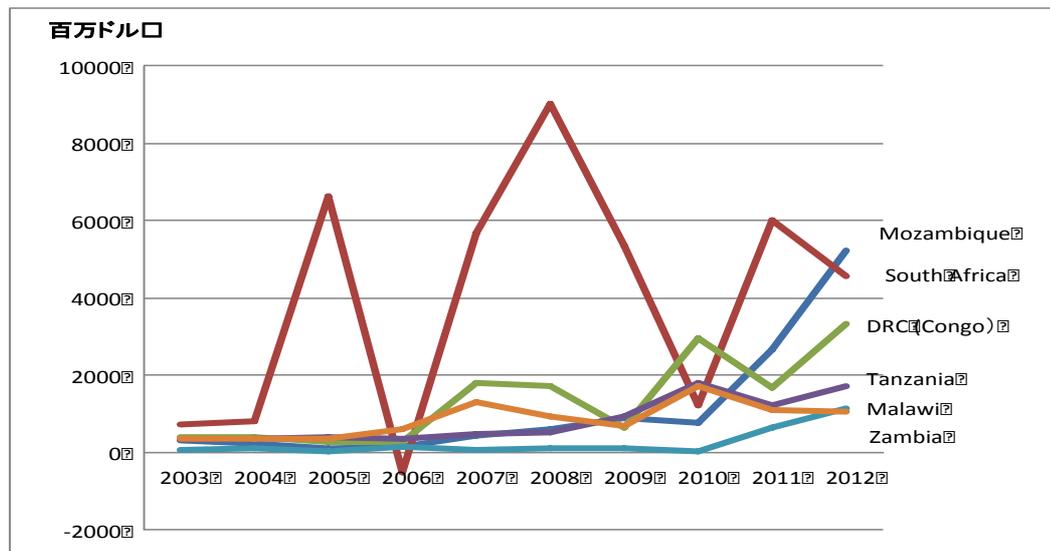


モザンビーク共和国における経済特区での企業進出状況

1. FDI と経済特区の現状

石炭・ガス等の豊富な資源を有しているモザンビークでは、近年、対外直接投資（FDI）が増大している。2012年のモ国における FDI は、アフリカで第2位の 52 億ドルとなり、南部アフリカ地域（SADC）では、南アフリカを抜いて第1位となった（図1）。このうち、FDI の約 10-30%は、投資優遇政策下の SEZ（Special Economic Zone）及び IFZ（Industrial Free Zone）に投資されている。

IFZ は、主として、輸出向け産業を対象としているのに対し、SEZ は、国内・輸出向け投資の両方を対象としている。現在、モザンビーク国内の SEZ・IFZ としては、以下が設立・計画されている。



- 1) ナンプラ州 Nacala A Vela 郡と Nacala Porto 郡のナカラ SEZ (1,539km²): GAZEDA が運営
- 2) ソファラ州ベイラ市の Manga-Mugassa SEZ (1,000ha): 中国民間企業が運営
- 3) マプト州ボアネ郡の Beluluane IFZ (700ha): 民間が運営
- 4) ナンプラ州 Mossuril 郡の Crusse e Jamali: 現在、民間運営会社を募集中 (1,750ha、観光業)
- 5) ザンベジア州モクバ市の Mocuba IFZ・SEZ (新設、2014年7月): GAZEDA が運営

図1 南部アフリカ地域の FDI の推移 (2003-2012)
出典 Data from International Trade Centre

ナカラ SEZ 内には、2つの IFZ が設置されており、それぞれ Locone (163ha)、Minheuene (350ha) と呼称されている。ナカラ SEZ は、全ての産業を対象としている。

ソファラ州の Manga-Mugassa SEZ は、中国の Dingsheng International Investment 会社を中心と

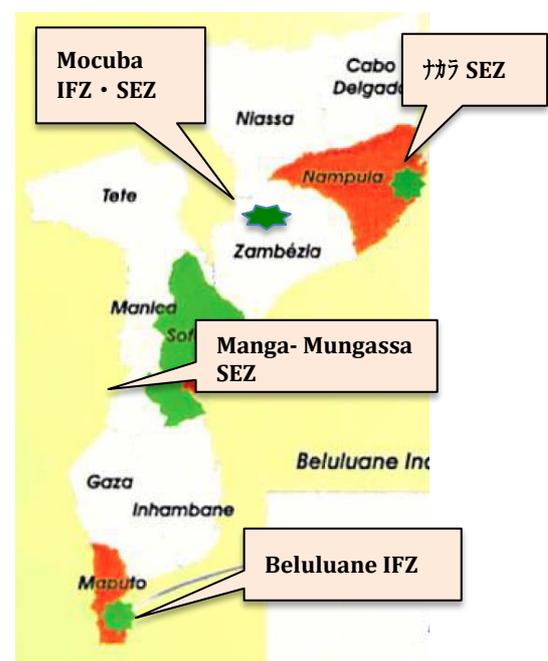


図2 SEZ, IFZ の位置図

なって設立され、現在、217ha が使用されている（Savana 紙, 25 July 2014）。本 SEZ は3つのフェーズからなり、SEZ のインフラ建設として、500 百万ドルの投資が見込まれている。新聞報道によると、繊維、ロジスティックス等の投資 260 百万ドルが既に投入されている。ベイラ港及び鉄道路線に近接している地理的条件を利用して、ジンバブエ、ザンビア、マラウィ、コンゴを含めた南部アフリカ地域への工業製品の生産を目指しているという。

2014 年 7 月、GAZEDA は、ザンベジア州モクバ市に IFZ・SEZ を設置した（Noticias, 26 July 2014）。モクバ IFZ には、コットン工場跡地に 76 百万ドルの公共投資でビジネスセンターが建設される予定であり、ザンベジア流域の農産加工の中心として担うことが期待されている。

上記以外では、現在、産業貿易省がテテ州（モアティゼ郡）、マニカ州、ソファラ州（ドンド郡）にて、工業団地の F/S を実施しており、8 月下旬には、調査結果が公表される予定である。

2. 企業進出状況

SEZ における企業進出状況は、以下の表のとおりである。

表 1 GAZEDA による SEZ・IFZ 内のプロジェクト承認

	プロジェクト数	雇用	投資額 (USD 百万ドル)
2009	12	5,307	151.7
2010	27	3,114	187.4
2011	11	5,478	280.7
2012	28	8,868	1,620.1
2013	48	3,329	373.6
2014 (1 st semester)*	14	1,217	94.8
Total	140	27,313	2,708.4

出典：GAZEDA データ

注：*第一四半期のデータ、見込み値。

マプト州の Beluluane IFZ には、モザールアルミニウム精錬工場に加えて、双日の木材チップ工場が投資している。2012 年の SEZ 内の投資額は、16 億ドルと増大しているが、これは、VALE によるナカラ・ベアラ港建設への投資によるものとのことである。

モクバの IFZ については、現在、モクバーケリマネ間の鉄道改修事業に関する F/S が実施されている。この鉄道を通して、モクバで生産された農産物がケリマネ港に輸送されることが計画されているが、将来的には、現在建設中の Macuze 港から生産物が輸出されるとのことである。現在建設中のビジネスセンターでは、通関手続き簡素化の One Stop Shop 等が建設される予定である。電気、水道等のインフラは既にあるとのことであるが、インフラ整備の拡大は必要とされている。日系企業を含めた数社との間で、現在、モクバ IFZ への投資について、交渉中とのことである。

また、英国系 Baobao Resources 社の現地法人である Capital Resources 社は、テテ州モアティゼ郡の砂鉄工場の建設予定地において、モ国政府と SEZ もしくは IFZ を設立することを協議している。

3. 情報収集調査インタビュー先

組織名	氏名	役職	コンタクト先
GAZEDA (Special Economic Zone Office)	Gil da Conceicao Bires	Deputy General Director	Tel: +258-21-400635 E-mail: gbires@gazeda.gov.mz